

神戸の集いから

★石阪孝二郎著

「朝鮮信使来朝帰帆官録」出版

慶長より明治に至る約三百年間の岡方惣会所の古文書の一部である「朝鮮信使来朝帰帆官録」を郷土史家石阪孝二郎氏が丹念に書写解説を添えた復刻出版記念会が三月十五日、天安閣にて行なわれた

川辺賢武、藤木喜一郎、石阪氏実弟竹中郁、古文書刊行委員会代表荒木敏三氏らと共に、民族服のチマ・チョゴリ姿で出席された在日大韓婦人会の丁閔仙、李珠榮夫人、韓国領事館の俞星濬氏の祝辞は、百余名の出席者に多大の感激を与えた。本書（実費二千円）の希望者は石阪孝二郎氏（55―7766）まで

★元町マーブルスクエア

完成祝賀会

元町三丁目が三月三十日、新しく「マーブルスクエア」の美しい舗装道路を完成させ、よりハイセンスなショッピングストリートへとイメージ・チェンジした。

当日は、はなやかなオープン行事が、三田明サイン会や似顔絵大会、花のプリンセスやミス神戸、海の女王などのパレード、写真コンテストなどはなやかにくりひろげられた。

完成祝賀会には、神戸市の狩野助役をはじめ百名ちかい人々がお祝いにかけつけ、元町マーブルスクエアの完成に祝杯をあげた。



Chianti corner

★キャンティ

コーナー

ほのかな気の配りが
嬉しいスタンド

皿海好郎（神戸商業高校教諭）



「初めてキャンティにきたとき、ピンとぼくに合うなと思ったんですよ。狭いなかにも奥行きのある構えと、ゆとりのあるムード、となりの人とおしゃべりできるし、マスターのほのかな気の配りはいいですね。グラスと洋酒のハーモニーのバランスがとれているし、スタンド好きには最高。またスタンドの中のチームワークがとれていて嫌味がないですよ」

洋酒の店キャンティ

Chianti

榊 晴夫

神戸・生田区北長狭通二二三
TEL 八三九 3060

5月中旬ピヤガーデンオープン

SUN
WHISKY



さわやかな初夏の味をどうぞ！
一品料理も準備いたしております
北欧ヴァイキング料理(1,400円飲食税140円別)

飲みほうだい (サントリー純生ビール) + 食べほうだい
クラウン・コーラ



なごやかなムード

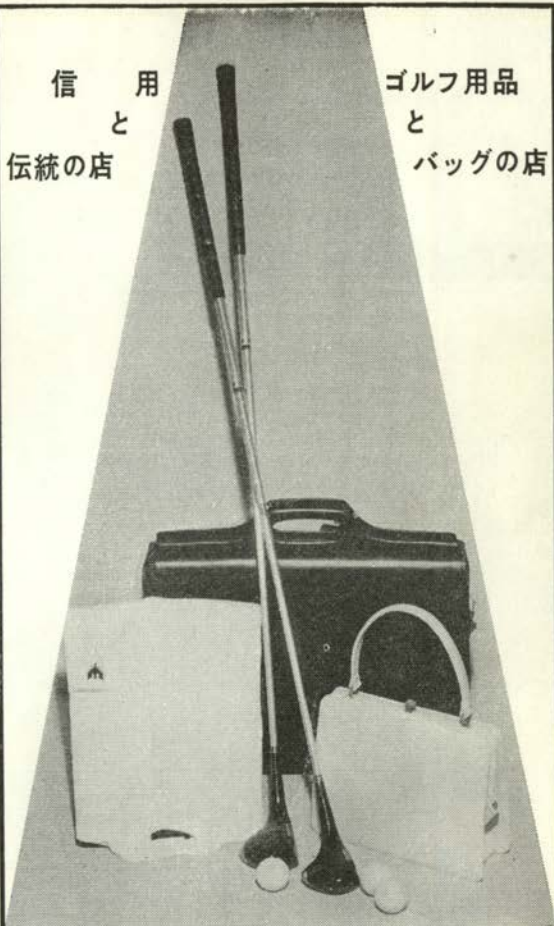
すばらしい眺望！

スカイサントリー

三宮交通センタービル9F TEL. 3705-6

信 用
と
伝統の店

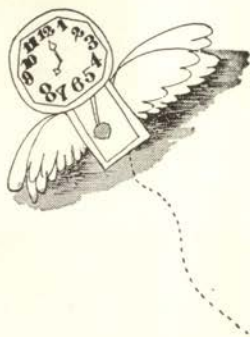
ゴルフ用品
と
バッグの店



タカハシ

神戸・元町3丁目 TEL 33-1172・7782
阪急三宮・マイシヨップ街 TEL32-3521

神戸百店会 だより



★さんブラサ

4月28日オープン

つねにはなやかな息吹きを見せる神戸の中心地、三宮に新名所“さんブラサ”が4月28日にオープンした。あらゆる機能をそなえたショッピングゾーンとして百店会メンバーからも多数の出店。コヤマカメラ、大上靴店、婦人服飾のセリザワドイツ菓子のユーハイム、洋装のマサヤ、コトブキのサラダハウス、宝飾の田崎真珠、ブティック芸夢、瓦煎餅の亀井堂本家、以上九店。

各々の店内は機能的なレイアウトで統一され、ゆとりとした通路はプロムナードとしての効果も満点。4階には四百台収容の大駐車場が設置され、車での買物も可能、ショッピングの楽しみがさらに増えた。

★ジャン・パトゥー・ブチック・コーベOPEN
去る三月二十日、ジャン・パトゥー社日本総代理店ブランドウブラン商事が、

北野クラブ階上にジャン・パトゥー・ブチックをひらいた。

白い大理石に囲まれた明るいウインドーには、オートクチュール・ジャン・パトゥーが創り出すオリジナルプレタポルテやネクタイ、スカーフ、香水JOYなど、パリの気品と伝統を伝える品々がきれいにディスプレイされている。

コラル北野で、神戸の街並を眺めながらの食事のひとときを過ごしたあと、ショッピングを楽しめるエレガントなおしゃれなブチックです。



北野クラブのジャン・パトゥー・ブチック

★優雅なサノヘ・キャピタル・フェアひらく

四月六・七日、北野クラブにおいて、舶来服飾雑貨のサノヘが、七〇〜七一年秋冬もののフランス・フアッシュョン・シヨエをひらいた。Roider・Pierron・Linfior・Cyclone・Desarbre社などのワンピース、スーツ、コート、パンタロンなどは、パリから到着したばかりノウミニは終り、ミディ、マキシの時代とのこ



北野クラブで開かれたサノヘシヨエ

とで、ほとんどがエレガントなロングスタイル。

河原秀子、ヘレン・ヒギンス、上仲快枝、小田淳子加藤史子、小松礼子さん等の一流モデルが次々と披露する約六〇点のコレクションは、洗練されたシルエツト、シックな色あいの新しいエレガンスを表現。いまま注文すると、九〜十月にかけて、パリから直送される国際化時代にふさわしいシステムで、大好評の内にシヨエの幕を閉じた。

百店会

ショッピングピックス

★婦人服飾の店ベニヤの事務所が三宮交通センタービル8階に移転しました。TEL ☎5585・6

★元町二丁目、ネクタイの元町バザールが店舗改装のため、元町商店街山側仮店舗にて営業中。何かと不便な点があるかと思いますがよろしくお願いします。

★初夏の強い日ざしから目を守るため、また装いのポイントに、サングラスはいかがですか。神戸眼鏡院 服部メガネでは、すてきなオシャレサングラスを大量に入荷。色・型ともに豊富です。

★ビールのおいしい季節です。オリエンタルホテルでは5月9日よりビアガーデンをオープン。時間は5時〜9時まで。

★ビヤ・ホールニュートリーキョーのルビールまつりが4月20日〜24日まで開かれました。今年の絵皿は日本洋画壇の重鎮、田村孝之介画伯の筆によるもので、大変好評を得ました。

★さんちか風月堂喫茶ルナ・ビナコティカギャラリーに新谷瑛紀氏の絵が展示されています。イタリア風景が6点。期間は5月末日まで。さんちかへお出かけの際にはお立ち寄りください。

★アロード、瓦煎餅の亀井堂本家が万博記念煎餅を発売中。

★同じく和洋菓子風月堂が万博会場出店を機に万博記念ゴッフルを発売しています。

ポケットジャーナル



★コールサインはJOPP

NHK神戸放送局八神戸市善合区御幸通八丁目九一国際会館4Fは、四月六日初めてFM放送の電波を持った。コールサインは「JOPP」。八六・五ヘルツ、出力五百ワット。開局には、金井知事、宮崎市長、砂野川重会長、作家の陳舜臣氏が「兵庫県未来」を語った。

番組は、月・土は五時五五分、六時迄ニュース、月・金は、八時三分十分までお知らせ。火・金の午後六時〜七時迄は暮しの話題が、佐原純アナウンサーによって、ディスクジョッキーで兵庫県内を通信部は結んで話題を放送。六月中旬からは、木曜〇時十五分〜一時迄「いこいのひととき」。土曜日の午後三時〜五時までは、ポピュラーからセミクラシック迄の「リクエストアワー」で、ハガキでリクエスト曲を申込みばいいわけだ。

また、NHK神戸放送局は、トアロードの北野小学

校東に新庁舎を建設予定。

(神戸市生田区中山手通二丁目六三) RTE放送も可能となつて「スタジオ〇二」のテレビ放送なども神戸から話題を全国に放送できる。

六大都市神戸にしては、いかに遅まきの感もあるが「ローカルサービスを充実させたい」と局ではいきている。

★津高和と一画伯

本誌でおなじみの津高和一画伯が、五月二十日頃ブラジルで個展。一度は、リオの近代美術館とサンパウロの近代美術館で約半月づつ個展が開かれるため。またサンパウロの総合大学では、日本現代美術について、連続講演を三週間ほど行なうことになっているので約二カ月間滞



津高和画伯

在予定。目下準備と制作に追われて多忙をきわめている津高画伯だが、体質的にあうブラジルの政府要請とあって情熱をかたむけている。

また目下大阪船場ビルの十号館地下一階ギャラリーの「一六mの壁面制作もありエネルギーッシュな活躍を続けている。

★きんつば祭り

店頭でみかけた大きな「きんつば」これは「元祖高砂きんつば」元町三丁目の本高砂屋が、新しいきんつば数種の新発売に先がけて開いたデモンストレーションである。普通サイズのきんつばの何個分あるかをお客に当ててもらって、当選者50名には万国博の入場券を進呈するというしくみ。当日は、粋な文語調の「号外」をセンター街などで配るなど、祭りムードを盛りあげれば、会場に展示中の大きなきんつばの前では、おみやげ用の買物をする奥さまや、勤めの合間に立ち寄った人、子供連れの夫婦などが集まって「百だ、二百だ、」僕はあの大きんつばの方がいい、」と各々勝負なことを云い合っている。期間中、元町本店二階及び神戸そごう地下にはきんつば茶屋が設けられ、甘党ファンの人気を集めている。

★故小倉千尋の

陶芸を集約する
陶芸「小倉千尋」の刊行

誕生日 ありがとう 運動



五周年ご協力に感謝!!

「精神薄弱児に對する正しい理解と愛情を」のスローガンのもとに、昭和四十年五月八日に発足した本運動は、この五月で満五年を迎えます。誰にでも年に一度めぐりくる誕生日を機会に、自分が今日あることを感謝すると共に、精神薄弱問題について考えていこう。精神薄弱問題は、その家族や関係者だけの問題でなく、国民全体の問題として取りくんでいこうと訴えてきました。この五年間全国各地はもちろん遠く海外からも多数のあたたかい愛の手が寄せられ、一日と着実に発展してきました。こうして発展してきた力は、みなさま方の筆舌につくせない真心もったご支援と共に、全国各地に散在するボランティア(自発的奉仕者)の献身的な働きによるものです。

本運動では、みなさま方の五年間のご支援に感謝し、五周年行事の一つとして、左記の展示会をおこないます。

○五周年記念の展示会

六月四日(木)〜六月九日(火)

展示内容
さんちか三妻ホームコーナー
写真展示「ある施設収容児の成長を追って」浜岡収氏作品

○本運動の五年のあゆみ
○精神薄弱児の図工、手芸等の作品

みなさんも、さんちかをご散歩の時は、ぜひおたち寄ってください
事務局 神戸市善合区小野柄通二の五青陽養護学校内
誕生日ありがとう運動事務局
電話 一五五九

明石の陶工として、また戦前から兵庫県下の代表的な陶芸家として著名だった故小倉千尋（おぐら・ちひる）氏の陶業をしのぶ本がこのほど出版され、関係者や陶磁器愛好家たちの注目を集めている。氏は明石の旧家の出身で幼少の頃から陶業に親しむ機会が多かったため、いつしか陶工を志すようになり、長じてからは中国へ出掛けて中国の窯場を遍歴したのち、帰国して京都で大いに勉強した。後年は明石に腰を据えて制作にはげみ、昭和37年他界するまで特異の美しい色釉（いろぐすり）を使って多くのユニークな優作を作った。その間帝展、文展、奉祝展、日展などで何回も受賞したり、大丸、三越など数多くの個展を開いたりして、声名を馳せた。特に文陶社を結成して多くの門下を指導した地方文化向上のための功績も無視できないところである。

作品としては花びん、茶碗、サラ、置物などが多かったが、総じて「釉彩陶芸」としての特色を十二分に発揮したところが、千尋陶芸の魅力となった。昭和15年に商工大臣から芸術保存資格者の認定を受けている。

この本は、千尋窯後援会有志が編集発行したものが、代表的な諸作のものとカラー写真をふんだんにの

せ、ありし日の陶業を如実に伝えると共に、作者の面影をしのぶ評論家や知人の一文が添えられて内容を豊かにしている。

（限定版、一進舎印刷KK刊、頒価千円）

★夏を呼ぶ水着とポルトとスキндаイビング



ズラリ並んだ水着美人

神戸の街にも夏が来た。桜の蕾が開きかけた3月28・29日の両日、三宮スイミングプールでヤマハとそごうの共催による「70ヤマハモーターポルト、そごう水着ショー」が行なわれた。

会場いっばいに展示された色とりどりのポルトと海浜テントを前にして、五人のモデルが、浜村淳さんの司会で今夏の水着ファッションを披露。昼時に集まったサラリーマンの眼を楽しませてくれた。

四万五千円のポルトから四〇五万円までのクルーザーに夏の気分を満喫した。

一方、最近とみに人気をあげているスキндаイビングのクラブが星電社三宮本店内に誕生する。15〜60才の水泳のできる男女で、6月14日〜8月30日まで土・日曜にダイビングの講習が受けられる。会費は三千円だが潜水用具は星電社が貸してくれ、潜水科学協会認定の3級バッヂと手帳が付されることになっていく。

サマーレジャーは、流行の水着でクルーザーを走らせ、瀬戸内海の小島でスキндаイビングしてリフレッシュしよう！

★バラエティーに富んだ武蔵野展

さる四月六日〜十二日神戸国際会館五階ギャラリーにおいて、兵庫県内の武蔵野美大出身者が「70武蔵野展」を開いた。会員には新世紀美術、一陽会、二紀会独立美術など各派の人々が作品を出品している。



武蔵野展のメンバー

★ドライバームモ
ブレーキオイルは減らない



川口陽之
（自動車評論家）

先日、神戸地方検察庁のある交通事件の副検事に呼ばれた。ブレーキオイルが減っていたので、補給して走ったらブレーキがきかなくなつて事故を起した件だが、これは始業点検を怠つたといえるか？という質問である。ブレーキオイルが減っていたら補給しさえすれば、それでOKというものにはホントではない。ブレーキオイルは、吸水性を持つているので、空気中の水分を吸って、量が増えるのが正常である（水分がまじると沸点が下つて気化しやすいので抜きかえる必要がある）。したがって、ブレーキオイルが減るといふことは、ブレーキオイルが漏れるということに故障が出ていて、そこからオイルが漏れているのを修理しておかなければ、ブレーキオイルをいくら補給しても、ブレーキのききは良くなることはない。

この検事の担当事件の被疑者はこのよみなことを知っていなかった。たうで（運転免許の構造試験では、ブレーキオイルが減つたら補給せねばならない……ただじか教えていない）、この場合はどうしても起訴猶予にせざるを得ないであろう。ブレーキオイルが少しでも減つたら、ガソリンスタンドでオイルだけ補給せずに、すぐに整備工場へ入れて完全に修理することを怠つてはいけぬ。

西村功、山田憲三、太田昇、丸本耕、上前一雄、古川清さんなどが力作をそろえているが、太田氏は「大阪、京都は商業ベースがあるので卒業生でデザイナーになってる人が多いです。阪神間の方は油絵が多く、一つの特色ですね。将来はもっとバラエティーのある内容にしてゆきたいと思っています」と語った。

★「あなたにスペースを」
「TIMEを演出するのはあなたです……」

こんなキヤッチフレーズでオープンした、スナック&レストラン「TIME・POCKET」で去る3月22日、ナオ・カジアルのオープンニング・フアッションショーが開かれた。

このTIME・POCKETは、神戸で初めてのジ

ュータンバーとして知られる「POCKET」の姉妹店で、マスターの宮野輝親氏は、船上パーティーを開いたりリズム&フアッションなどたえず若者を対象にした企画をたてたりしているが、その宮野氏が、三宮阪急西の寿本舗を上につたとところ、新道隔西ビル地階に自由に使えるスペース



ナオ・カジアルのショー風景

を提供しようとオープンした。第二回催しとして、ジャム・セッションも行ったが、今後、デイスクジヨツキョ、芝居、演奏会、フアッションショーなど、どんどん企画していきたいとのこと。神戸でまだ、そのきざしを見ないアングラ芝居なども、TIME・POCKETからと、はりきっている。

店内は、淡い紫色で統一シクなサロン風の作りで二階があり、天上がふき抜けになっていて、広く感じさせるスペースを作り出している。昼間はティータムとして(コヒヒ2000円)明るい落着いたティールーム。何らかの小さな発表会を持ちたい人は昼間のぞいてみると良い。「TIMEを演出するのはあなたです……」
TEL(39)5907

計時花



いよいよ第四回 神戸カーニバル

神戸市民あげてのお祭り神戸カーニバルの日がやってきた。

5月2日が前夜祭、5月3日が本番のパレードが行なわれる。パレードに参加する市民の各チー

ムは準備に一生懸命だ。神戸の町に楽器が響き歌声がかまして踊りまくる日も近い。

また、在神の外人、神戸にやってくる外人さんにも神戸カーニバルは大変な人気を呼んでいる。

神戸カーニバルも四回目を迎えていよいよ本格格的になってきた。神戸の年中行事で一番人気のある賑やかなお祭りになってきた。しかし、お祭りといっても四回目ともなればほとんどちゃん騒ぎだけでは何

んとなく落ちつかない。理屈好きの人にも納得して楽しんでもらえるお祭りであってほしい……

万国博のお祭り広場のシンボルは太陽の塔、この塔のなかにあらたかなお祭りのご神体が秘められていたのだと語るのは岡本太郎プロデューサー神戸のカーニバルでもシンボルの塔でも建ててお祭りのご神体でも納めたらどうだろう。さしずめ「未来を創造する神々」などをお祭りしてはどうだろう。(Y)

★コウベ

ムービーコーナー

「雨の訪問者」

サスペンス映画の最高峰「太陽がいっぱい」を作った名匠ルネ・クレマンが久々にとり組んだサスペンスあふれる映画がこの「雨の訪問者」である。平和な町に訪れた二人の男。彼等は雨の中をやってきた。この「雨の訪問者」がまき起した事件とは？そして事件にまき込まれた女は？スリリングな導入部から、息もつかぬテンポで進んでいくこの映画はバリー一月に公開され、大ヒットした。



物語は、地中海に面した小さな避暑地。夏もすぎず雨の降りしきる秋、この町にグレイのレインコートを着て赤いバッグを下げた男がやってきた。秋になってこの町に人が訪れてくることはめったになかった。メランコリック・モーター通称メリーは、雨の中じつと立っている男を不思議そうにながめた。男もメリーのことをじつと見ていた……

主演は「さらば友」で地味なバイ・ブレイヤーからその男くさい魅力で一躍スターダムにのし上ったチャールズ・ブロンソンと「ある日アンヌは」で人気の出たマルレーヌ・ジャベール。

KOBEの
気楽な雰囲気
が
楽しめる
CLUB 《落》

*



CLUB ふ き

落



生田区下山手通2丁目 TEL 39-1515



古きヨーロッパムードの石垣と
ステンドグラスのある店

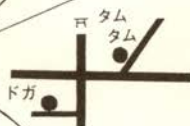
Drink Stand

ふきふき

TEL (33) 9090



ヤツカチェーン



Snack Drink

DOGA

TEL 33-4560

白楡で囲まれた北歐ムード
お二人づれの店



キリシタンの墓

小山 牧子

え・石 阪 春 生

海に 消えた男



単調なくりかえしてしかない波の音は、奇妙に孤独な響きをもち、不吉な予感が覚めがての佳につきつけてくる。

——夢を見ていたのだらうか。そしていまも、たしかいま、わたしの耳に響く波音は、幻聴でしかないはずだ
が——

目を閉じたまま佳は考えた。あの昨夜の事件、午前二時の塩屋の海近くで起きた事件を夢として片づけてしまふためには、それはあまりにもドラマチックでありすぎ

る。
やがて、佳の耳は、暗い波音を裂く、母、蘭子の鋭い叫びごえを聞いたと思つた。

「脇坂先生——ッ」

「センセ——ッ」

昨夜は、海の風が強く吹き荒れていた。暗い海には、悪霊かなにかのように漁火が散らばり、厚い雲のかたまりが、月のありかを塗りつぶしていた。

身体を横たえたまま、ナイト・テールからとりあげた煙草に灯をつけ、紫色の煙を天井にむかつて吐息と共にもくつかせたとき、朦朧としていた佳の意識の焦点が定まり、昨夜の記憶が鮮烈によみがえった。

きのうは、土曜日だった。午後、帰宅した佳は、自室のソファに寝そべり、怠惰な気分で煙草ばかり吸っていた。若い佳には、世の愛煙家たちがつよような愛着を、この嗜好品に感じることはない。が、胸深く吸いこんだ紫煙が、唇から外界へともくつきだすとき、青春につき

ものの渴仰と、瓦礫を敷きつめた道をどこまでも歩いてゆくのに似た違和感が、わずかながら癒やされるように佳は感じるのである。

蘭子が入ってきたとき、佳の部屋は寝そべった若い女の体臭と、煙草の煙で、場末の喫茶店のような雰囲気を持たせられていた。

「サタデイ・ナイトだというのに……」

外出の支度をととのえた蘭子は、神経質に手袋のボタンをたしかめながらいう。

——それがどうしたというのだ——

佳は、ことさらに不良っぽく腕をのばし、灰皿のへりで煙草をもみ消しながら、

「お出掛けなの？毎日おいそがしいことねえ」

乾いた唇にふさわしいトゲのある言葉でいったものだった。

蘭子は、理由もなしにすさんでゆく娘の心をそのままにして出掛けることもできかねたのであろう。

「そう……。あなたも一緒にどう？」

「ノオ・サンキュー」

にべもなく拒む佳に、

「だってケイ、垂水の寺田春曉さんが、今度、赤人賞をお受けになったんですよ。そのお祝いの会が今夜なの。春曉さんには、あなたも小さいときからよく可愛がっていただいたでしょう」

「春曉さんが赤人賞？」

「ええ。だから今夜は、なにをいっても駆けつけなくてわ」

母の蘭子は、二十才代のはじめに短歌に凝りはじめ、すでに二十年以上がたつた。東京に本部をおく日本でも二、三番目に大きな組織をもつ短歌グループの同人で、四、五年前に、外国航路の船長をつとめる夫の一期のポナナス全部を注ぎこんで豪華な歌集を出版した。で、蘭子は、才能もさることながら、豪華な自費出版の歌集をもつという実績のために、彼女の属しているグループで

はいい顔になっていて、古典的で日本浪漫派の伝統を受けつぐすでに一つの權威になっているそのグループの後だでもあって、この地方都市の神戸では、女流歌人の第一人者であるとの評価を受けている。さらに、蘭子が出版した歌集の中に、色恋について歌ったものが多かったところから、短歌にあまり深いかわりをもたぬ地方文化人の間でも話題になり、与謝野晶子の再来であるとか、情熱の歌人、蘭子などと喝采する軽薄なチウチン持ちなどもいる始末で、四十五才の蘭子は、この二、三年、ジャーナリスチックな存在にさえなっていた。

「春曉さんのお祝いの会なら、ケイもぜひ行かなければならないわ。覚えていてでしょう。パパが留守がちな家庭の娘は可哀そうだとおっしゃって、よくあなたと遊んで下さったわ」

——あの油や水気をしほりつくしたような老人……。あの人なら、わたしも好きだ——

佳がふとそんなふう考えたことがいけなかった。それに、わずかばかり、母の蘭子についての敵意をふくんだ好奇心も手伝った。

それでもまだ大儀そうに身を起こし、ブラウスの襟もとから手を入れて胸の谷間などを掻いている佳のわずかばかり心の動いたさまを、蘭子生来の感のよさで悟ると、

「そうよ、ケイ。ケイは春曉さんがどんなに好きだったか。いつも枯木のような春曉さんの腕にぶら下って、水族館だとか遊園地だとかに連れていってもらうケイは、楽しそうだったわ。空中ケイブルに春曉さんと乗ると、両手を広げて歓声をあげる幼いケイとは反対に、春曉さんは目をつぶれてしまうほどきつく閉じて鉄棒にしがみついていたわねえ。そして、帰りはいつも春曉さんの腕の中で、正体もなくケイは眠りこんでしまったものよ」

蘭子がさえずっている間に、ケイは、はいていたストラックスはそのまま、裏皮の古ぼけたコートに腕を通した常々、一時間はたっぷり時間をかけて外出の支度をする

蘭子とくらべ、それはあまりにも無造作な身ごしらえである。

「ま、ケイ。そのままではゆくの？今夜は、すばらしい人がたくさん来られるのに」

興奮顔の蘭子に、

「気にすることないわよ、ママ」

「だって、母親のわたしが恥ずかしいのよ。ねえ、ケイ。わたしの身にもなって」

佳は、盛装した蘭子に近ずき、蘭子の頭の前から足先まで、悪意のある視線をはしらせた。

「いいじゃない、ママ。いつだって、ママは自分一人が輝いていれば満足なんだから」

佳の語調は、急に揶揄的になった。

「きょうのママも十分にお美しいわ。二十三才の娘であるわたしがまるで妹に見えるほど若々しいし、生気にみちているわ。だから、今夜もまた、みんなの関心はママ一人に集まるはずよ」

語尾のふるえをヒステリックな笑いでかくす佳に、

「相変わらず意地が悪いのねえ」

さりげなく身をかかず蘭子には、若い娘が射こむトゲなどには傷つかぬ年齢からくる表皮の厚さと、さらに世にみとめられはじめた女特有のゆとりが感じられる。が、そんな蘭子に、佳の敵意はなえることがない。

大体、佳は生まれてこのかた、春暁老人をのぞいては蘭子たちの仲間である短歌をひねくる連中に好感をもったことがない。父が留守がちであったために、もの心ついたときから母の世界、それはすなわち短歌の世界であったが、その世界になじみすぎた佳であるが、若い佳には、彼等の醜さがいやというほど目についた。人生の苦しみにくだかれ、堪えねばならぬ日常生活の苛酷さから逃避した分だけ歌の世界におぼれ込み、その小さな世界の中の名声と人々の賞讃をほしがる関心乞食たちの群れ。それはどの世界にもあることだらうけれど人間の弱さを醜さとしか受けとれぬ年若で未熟な佳にとっては、彼等の仲間たちの中でも、母の蘭子は、もっともあさましい存在であった。

蘭子は、四、六時中、同じ短歌仲間である男たちとの特別な交情を噂されている。私生活のややこしさが、情



オール関西

5月号予告



■万国博特集

- 万博ルポ対談
会田雄次——木村重信
- 万国博総点検
パピリオン・施設を総点検する!!

■グラビア特集

- 万国博レストランお国ぶり
- 万国博モード・カレンダー
- 万国博スター

■特別インタビュー

- 神戸市長・宮崎辰雄氏
「神戸を日本一住み良い理想的な町に」

■サンプラザ座談会

- | | | |
|------|------|------|
| 藤原正善 | 伊東武彦 | 山田六郎 |
| 衣笠悦三 | 横田雄彦 | 中内 力 |
| 平松喜一 | 近藤常吉 | |

■神戸カーニバル特集

- 座談会 「万国博の理念と楽しさを神戸に!!」
「夢と光と音楽、神戸カーニバル」

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 貝原六一 | 田中建一郎 | アウシオネ |
| ・シャピエル | 藤塚満 | タリング・ |
| シン・ワス | 李珠栄 | 山脇陽三 |
| 永野奏輝 | 酒井ゆかり | 野崎謙二 |

好胤対話 観世喜之—高田好胤

■創作「生と死の間」

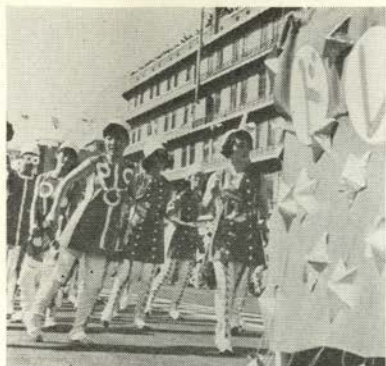
真下五一 絵・青木一夫

「あなたですよ、奥さん。あなたが一番美しい。世男中
りを指さし、
毎日、執拗に同じことを問い続け、あきることのない
ナルシズムの極地を生きる蘭子。が、白雪姫の継母と鏡
の関係とはことなり、蘭子の鏡は、決して娘である佳の
名を蘭子に美しいと告げることはない。いつも蘭子ひと
りをおくれ——
——鏡よ、鏡。世界で一番美しい女は、だれだかいつて
で、佳は蘭子を見ている。
——ママの表情がなごむのは、自分を映す鏡にむきあっ
たときだけだ——
蘭子が他者にむきあうときよりも、さらに冷たい目
で、佳は蘭子を見ている。」

とはいえないまでも、この神戸の街では、あなたの右
に出る女の人はありません」
その鏡の役割りを果たすのが、蘭子にとっては短歌の
世界であり、情熱の女流歌人という評価であった。
——わたしは何も、大きらいな短歌仲間集まりなどに
行きたくはない。だけど、私はいつもパパの味方だ。ふ
みつけにされながら一生懸命に働いているパパにかわ
って、この不遜な女を凝視してやらねばならない——
そう心にきめたことが、その夜のとんでもない事件に
佳を立会わせる結果になった。
それでも表面は快活に、鼻唄などうたいながら、佳が
門から戸外に駆けだしたとき、通りに人待ち顔のタクシ
ーが止まっていた。車内をのぞきこんだ佳は、一瞬、呪
詛を胸一杯に充填した魔女のようにつぶやいた。
「脇坂……紫峰……」
やがて、佳の後からさわさわと衣ずれの音をたてて車
に近づいた蘭子が、車中の男に若やいだ声をかけた。
「先生、お待ちになって？」
「いや……」
紫峰のサビをふくんだ声が答え、母娘を車内にすくい
こんだ車は、すぐに西をさして走りはじめた。(続く)

★★★★1970★★★★

KOBE CARNAVAL



'69神戸カーニバルの神戸ドレメチーム



'69神戸カーニバルの二紀会チーム



★光と音のエキゾチックなお祭り

神戸カーニバル

5月2日〈前夜祭〉

5月3日〈パレード〉



★街を彩る豊かな国際色

空の青さだけが五月を決めるわけではない、香りたかい潮風に映える第四回神戸カーニバル、これが神戸の街の五月をあらわす。

神戸カーニバルに生きるEXPO'70。これが今年のカーニバルのみどころでもある。街の花壇とビルの谷間に佇むエトランゼのカップルが、色と笑いと音楽にたえきれずパレードの踊りに参加する。

神戸を生かすカーニバル、エキスポ'70を超える人間の交歓、五月二日、三日の両日は、神戸市民一三〇万の祭典である。

★カッコイイノミスカカーニバル

青年広場の若さ溢れる前夜祭
五月二日(土)は若人の交歓の場。歌と踊りを中心にした若いエネルギーをぶつける前夜祭が楽しい。何といっても圧巻はミスカカーニバルの選出だ。一次選考を済ました美女数十名が、東遊園地の噴

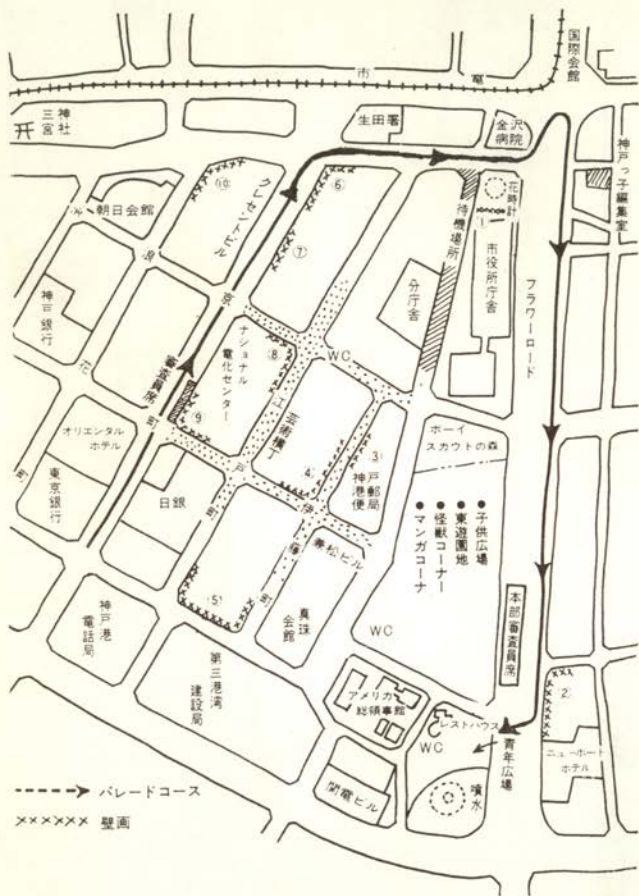
水前での水着ショーが行なわれる。審査員を前にして若さはちぎれるミスカカーニバルのコンテスタは、前夜祭に集う人々を魅了することだろう。

午後一時からは例年通りの「神戸うまいもん」各店舗を出し、健康な味覚を満足させる。続くアマチュアバンド大会は、この日のために鍛えている神戸アマチュア界の水準を知らされることだ。

三日(日)には正午から神戸カーニバル音楽フェスティバルが広場全体をゴージャスで埋め、フィナーレのサンバで本場ブラジルのカーニバルを想わせる盛り上がりだ
★万博ホステスにワンダフルノ

パレードは歌と踊りでハッスル
神戸カーニバルのクライマックスは、参加することに意義があると駆けつけた63団体、四千人がぐりだすフラワーロードいっぱいのパレードだ。万博マーチに乗って

神戸カーニバル★会場案内図



’69神戸カーニバルの神戸っ子とブラジル領事館

行進する万博ホステスは15カ国、16パビリオンから国際色を豊かに神戸の街を飾ってくれる。日本館鉄鋼館、カナダにフランス、オーストリア……。神戸ならではのエトランゼとの交歓に、あちらこちらでオオ・ワンダフルの掛け声。昨年と異なり、京町筋の東京銀行前から北上し、フラワーロードを東遊園地に流れるコースは、リズムと踊りと笑いをテーマにした各団体のあらわれるのを待つ二十万人の人数で賑わう。

今回初参加のPL神戸YMC六

五〇人の統制とれたリズム感、昨年度最優秀賞の韓国のおでやかな舞。強烈な太陽のサンバをテーマのブラジル領事館と月刊神戸っ子チーム、万博会場から直接かけつけたフィリピンの踊り子たちのパンブーダンス。民族衣裳のインドの婦人たち、婦人団体の描く民謡の絵模様、阿波踊り、これらが、神戸の街々を飾る芸術広場の壁面と、子供広場での夢と笑いのイメージの中で、パレードは陽の沈む頃、東遊園地に流れ解散となる。



Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

Kent shop
77キヤ

元町3 TEL<33>3617



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

三恵洋服店

元町4丁目 TEL ☎ 7290

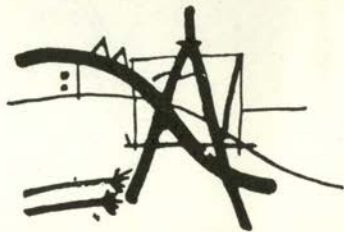
高級紳士服専門店

神戸テラー



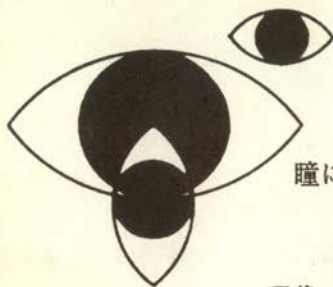
さんちかメンズタウン TEL ☎ 0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL ☎ 2817・3173

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
☎1309・6234



瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市灘合区御幸通八丁目九ノ一 (三宮駅前)
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570



べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

新装開店 **太田 鼈甲店**
元町1丁目 TEL (33) 6195



酒徒なれば
だれもが選ぶ
灘の生一本
大黒正宗

清酒 **大黒正宗**

安福又四郎商店醸

オリジナル **L** サイズ

草履新発売

創業明治二十八年

履物の山下

古い老舗に新しいセンス

確実正札 完全冷暖房

静かに品選びの出来る店

神戸三宮センター街 TEL (39) 0256

おすし
てんぷら



栄
彌

営業時間
A.M. 11.30~P.M. 9.

本店 大丸前・三宮神社東

TEL ③③ 5 5 7 7

5 6 7 7

4 2

支店 さんちか味ののれん街

TEL ③⑨ 5 2 3 3

(毎週水曜日休み)

やっぱりうまい
むさしのとんかつ



ムサシ
ムサシ

でんわ・

232333 一三三七七
一〇六三二四
一〇六三二五



グラムール

生田筋・岸ビル地階 TEL 33-4637



精肉直営
まるたか

生田区北長狭通1丁目25-1
生田新道ビル地階

新世紀ビル
生田新道ビル
まるたかビル
TEL (078) 39・8812

スタンド
桂

三宮農業会館北東洋ビル地下
TEL 33-2239

DRINKING



三宮農業会館西筋を50m北上すると東洋ビルがある。スタンド「桂」はその地階のプティットなスタンド。ソフトな音楽に、壁にかかった千原三郎のフランスの教会風景とマルセーユの港風景がしゃれている。透明なコードベンダントがレンガと焦茶の壁をほのかに照らすシックな店。4月1日にオープンしたばかりだが、ママの辻桂子さんの大らかなおっとりとした人柄を反映して、落ちついた雰囲気。せいぜい7、8人という席だけど楽しくお酒を味わえるのがいい。

バツグンに美味しいスープは、ママの手作りの味で、ボルシチやセロリスープなどバラエティーにとんでいる。

客層はドクターやビジネスマンが多く、初めてお店を出したママに、アドバイスをしたり、素人っぽい家庭的なムードを楽しんでいる。

ビール200円、水割り350円。午後6時～12時迄。



クラブ

ジャルダン

生田区中山手通1丁目111
TEL 33-8589



★神戸の春はフラワーに始まり、神戸の夜は「ジャルダン」で熱いが始まる。三宮生田新道の大陸飯店を北に上がると左手、トントンと階段を昇りつめればクラブ「ジャルダン」の花園が待っている。

カウンターで粋なバーテンさんを相手にするもよし、ボックスで気楽にグラスを傾むけるもよし、またギターに合わせて歌うもよし、日頃のウサもふっきれる楽しい花園だ。きれいな花に囲まれて飲む酒も酔いを誘う。

マスターの岩戸秀能さんことガンちゃんのカップの良さが店に反映して、さわやかなクラブとなっている。

神戸を訪れる人の多い昨年、さあこんなクラブが神戸にもあるのですと気楽に誘い連れてこられる安心な店だ。ガンちゃんとおしくなるほどに店の良さが分るといふから、得なマスターである。

午後6時から午後12時まで。

